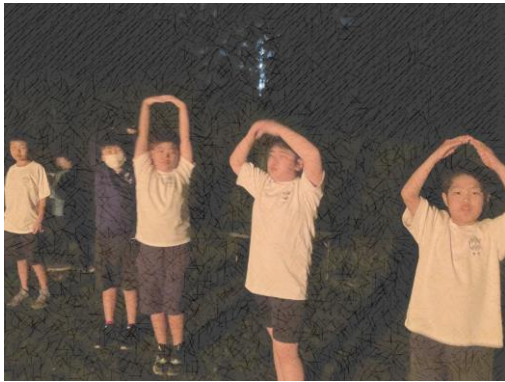


# 自分を律する力、仲間とつながる力

入浴を終えた子どもたちは、18時から食堂で夕食をいただきました。昼食にはカレーをたくさん食べた子どもたちでしたが、日中の登山などの活動でしっかり体を動かしたこともあり、夕食ではおかわりをする子どもも多くいました。この日の夕食は、ハンバーグや唐揚げなど、子どもたちが喜ぶメニュー。友達と一緒に食卓を囲み、楽しく会話をしながら、おいしくいただきました。夕食の後は、みんなが楽しみにしていたキャンプファイヤーです。火を囲み、5年生全員が一つの大きな輪になって、歌ったり踊ったりしながら楽しい時間を過ごしました。みんなで同じ時間を共有する中で、学級を越えた仲間とのつながりも、少しずつ深まっていったように感じます。一方で、楽しい時間を過ごした後、自分たちで気持ちを切り替え、次の活動に向かうことも宿泊体験学習で学んでほしいことの一つです。









キャンプファイヤーの後は、1日の活動を振り返るまとめの時間を行い、それぞれの部屋に戻って就寝準備を進めました。22時に消灯を迎えましたが、楽しかった1日の余韻や、友達と一緒に過ごす楽しさからか、なかなか寝つけない子どもたちもいたようです。それでも、23時頃には、多くの子どもたちが眠りにつきました。自分の気持ちをコントロールし、今何をすべきかを考えて行動すること。そして、仲間と一緒に過ごす中で、相手を思いやり、互いに支え合うこと。宿泊体験学習の一つ一つが、これから6年生に向かっていく子どもたちにとって、「自分を律する力」と「仲間とつながる力」を育てる機会になっています。